

第3回天草市総合計画策定審議会議事録

- 1 開催日時：平成22年9月13日（月） 午後1時30分開会
- 2 場 所：天草宝島国際交流館ポルト 2F 研修室
- 3 出席者：
委 員 上野会長、中川副会長、亀子委員、木下委員、島田委員、中島委員、
野上委員、春木委員、平塚委員、福本委員、益田委員、万田委員
（欠席 鳥山委員、浜委員）
天草市 塩田企画課長、小川企画調整係長、その他関係各課
- 4 提出資料：資料1 後期基本計画・施策内容調書
資料2 施策内容調書関係資料
資料3 施策体系図（素案）
資料4 ホームページアクセス数の推移
資料5 後期基本計画策定提案書（万田委員）
資料6 天草ごみ白書（2007年度版）等（鳥山委員）

5 内 容

〔1〕開会

〔2〕会長あいさつ

（会長）

本日は施策の柱 ～ までを審議する予定としている。午前中に同じ場所で行革の審議会をしていたが、天草市の財政は待ったなしの厳しい状況にあることがわかってきた。過去4年間の計画の実績は、「失敗だった」と言うしかないと思っている。教育や福祉など、粛々とやっていく部分については住民の評価も高かったが、住民が危機感を持っている雇用・産業面、観光などについての施策は効果を発揮できなかった。基本構想で掲げた目標達成のためにあと4年間施策を打っていくが、手段については、これまでのやり方ではいけないということは、はっきりしている。なにか一つでも有効な手立てを考え、実施するために、審議会・市職員の皆様のご協力をお願いしたい。

〔3〕議題

（議事録について）

前回審議会の議事録（概要版）について、事務局案のとおり決定。ホームページ上で公開することとされた。

議題1 後期基本計画について

(会長)

今回は施策の柱・について審議したが、委員から補足説明等あればお願いしたい。

(委員)

今回、観光分野で提案書を提出しているが、実際バスに乗ったりして、現状を見た上で書いているつもりである。実現可能なものについては計画に盛り込むことができないか、事務局には検討していただきたい。

(委員)

これまで観光分野では、天草のイメージとして「歴史とロマンと殉教の島」として打ち出してきたが、新たな切り口で考えなおしていかなければならないのではないかと感じている。

(会長)

全国的に天草といえば「キリシタン文化」のイメージが定着しているわけだが、実際に旅してみると見るもの・食べるもの等にそれが感じられない、というのは委員のおっしゃる通り。これから天草の素材を磨きなおしていく必要はあると思う。

観光だけでなく各産業分野を計画するうえでは、例えば自給的に農業をされている方を応援する必要はもちろんあるが、特に生業として頑張っている方を応援する必要があると考えている。

議題1 - 「 . 快適な生活環境づくり」について

事務局より、配布資料 「後期基本計画・施策内容調書」および資料 「施策体系図(素案)」について説明。

(会長)

ここに書かれている成果目標を達成することで、施策が実現されたと言えるかということについては確認が必要である。

(副会長)

「公共交通対策の推進」について、何年を目途に代替交通手段導入の検討を行うのか？

(事務局《地域振興課》)

路線バスについては、市の負担も高額になってきており、見直す必要があることから、平成21年から23年の期間で再編に取り組んでいる。また、公共交通の空白地帯をどうするかという検討も、平成23年度までの計画の中で行っていく予定である。

(会長)

熊本県全体で見ても、バス路線は採算が取れない状況にある。今後は公共交通への補助・路線の再編だけでなく、住民の住む場所自体を誘導して行政コストの削減を図らなければならない時期に入ってきていると思う。

(委員)

ずっと人口が減り続けていく中で、今までと同じ政策ではいけないと思う。公共交通政策なども、高齢化する地区それぞれの中で考えて実施したほうが効率が良いと思うの

で、そのような仕組みづくりができないか。

(委員)

買い物難民という言葉もあるが、公共交通までのアクセスすら大変な人たちまで出てきている。富山市のように、行政コストのかからない地域に住居を誘導していくような施策も必要になってきているのではないか。

(事務局《企画課》)

天草市では、「福祉タクシー」という、バス停まで1km以上離れている方についてタクシー料金を助成する施策も実施している。

(会長)

成果目標について、路線バス利用者が減っているのはバスから車に交通形態を変えようということなのか？また、消費生活相談員数や防災訓練実施回数、砂防事業施工回数など変化させない数値は、計画の目標としてはふさわしくない気がする。逆に、医師確保数が挙げられているが、現在の状況で医師数を増やすのは極めて難しいと思う。

(事務局《地域振興課》)

路線バス利用者は人口減少もあり毎年5%ずつ減少している。そこを3%に歯止めをかけつつ、路線再編による経費削減を狙うため、このような成果目標になった。

(副会長)

乗らないものは要らないということかもしれないので、もっとコストのかからない方法を探る時期に来ているかもしれない。それと定住人口の増加促進については、産業興しや所得保証など、積極的な施策を打っていただきたい。

議題1 - 「 . 地域を担う人づくり」について

事務局より、配布資料 「後期基本計画・施策内容調書」および資料 「施策体系図(素案)」について説明。

(委員)

教育分野については、学校指導補助教員の設置など、政策的にかなり配慮してもらっていると感じている。

(委員)

国際交流の推進は、観光分野と大きく関連している。中国にメディカルツーリズムを仕掛けたが、中国語のできるスタッフがいなかったため天草市はパスしなかった。市長マニフェストに国際交流の推進を掲げるのであれば、通訳ボランティア登録者数の増加などは、もう少しスピードを上げて取り組むべきと考える。

(会長)

成果目標の部分で、人権教育・啓発の部分で研修会の実施回数ではなく、意識調査の結果等を考えるべきではないか。トライアスロン大会についても同様。学校教育については、司書や補助教員の数ではなく、これらの配置によりどれだけ効果を出すかという目標を設定するべきではないかと思う。また、看護専門学校の合格率や就職率は書かれ

ているが、肝心の小・中学校の学力向上については目標値に挙げられていない。

(副会長)

コミュニティ施策に関して、施設を整備するのは教育委員会で、施設を使うのは地域振興課が所管している。施策・組織の効率化を図るうえでは一元化を検討すべきではないか。

(会長)

社会教育と地域づくりとは違う分野であり、天草市の場合は公民館活動とまちづくり活動を一緒にしてしまったことがまちづくりの停滞を生んだ原因だと感じているので、見直しを行うべきだと思う。

(事務局《地域振興課》)

市の組織の見直しと足並みを揃え、教育委員会と協議をしながら検討している。

(委員)

男女共同参画社会の形成で、なぜ女性委員の占める割合が年2%の上昇となっているのか？もっと上昇幅を大きくしていいのではないかと？

(会長)

現実として、役職経験者や専門性を必要とする分野への女性の進出がまだまだ少ないので、そこから選ばれる審議会委員等に女性が入る割合は自然と少なくなってしまうという問題がある。30%というのは、日本全国で様々な自治体が掲げている目標の代表的な数値だと思う。

(事務局《企画課》)

行革審議会では4割という目標を掲げているので、調整させていただきたい。

(委員)

まちづくり協議会や地区振興会など、まちづくり団体の認知度が低かったり、機能していなかったりすると思うので、組織を見直す必要があると思う。

(副会長)

全体で51の地区振興会があるが、任意団体であるので活動もそれぞれであるという現状である。

(委員)

根本的に、地域を担う人として若者が残る政策を打たなければあらゆる課題が解決しないと思う。農業で荒廃地対策を話し合っても、「誰がやるのか」というところでいつも行き詰ってしまう。天草の農業分野では、60歳は若手であり、70～80代が現役と考えている。年金だけでは食べていけないというのが現実であるため、年100万円規模の農業で60歳以上の農業就業者を探している状況である。

(会長)

逆にいえば、年金プラス年100万の農業で自給して、60歳からが主役の暮らしというのは、高齢者が移住してくるためには大きな宣伝効果があるかもしれない。良いキャッチコピーを考えたりして、政策としてやってみる価値があるのではないかと。

(委員)

中学校の PTA などやっていて、学校の統廃合や耐震化・社会体育施設整備に興味がある。なるだけ早く取り組んで欲しいとか、様々な施設整備を要望する声があると思うが、すべて実施してしまうとどれくらいの支出になるのか、天草市の財政が持つのか不安でもある。

議題 1 - 「 . 機能的な社会基盤づくり」について

事務局より、配布資料 「後期基本計画・施策内容調書」および資料 「施策体系図(素案)」について説明。

また、万田委員より、資料 5 に基づいて提案計画の説明。

(委員)

主要施策の 1～3 までは、市の予算だけではどうしようもない。必要性について国や県へどのように訴えるかが重要だと思う。また、これからのインフラの整備・管理については、市民と協働して行わなければ維持費が捻出できないと思う。港湾についても、マリンスポーツ等への転用を図らないと無駄な施設が多いのではないかと。情報化については、web の駅等の有効活用を検討してほしい。

(会長)

今回、担当部署が出席されていないようなので、インフラ管理等への市民参加の可能性や港湾の転用の可能性などについては、次回で回答いただきたい。

(副会長)

幹線道路の本渡ルートについては、B ルートは 3 つの案の中で最低だと思うが、県は最初から B ルートありきで議論をしていた。市民として、B ルートを受け入れるかということ再度検討しなければならない。港湾については、利用者数の成果目標を白亜紀資料館の入館者数に限定するのはおかしいのではないかと。また、みなとまちづくり計画の作り方についても、計画検討の前に漁協を決定しているなど、計画性がないと思われる。

(会長)

新電算システムの導入は終了しているのではなかったか？新たに導入するとすれば、その必要性はどのようなものか？次回ご説明いただきたい。

(委員)

情報化については、せっかくホームページのアクセス数も多いので、現在のシステムをうまく使えばより良いものができるのではないかと。E-mail フレンド数の単位は校数なのか、人数なのか？

(事務局《学校教育課》)

人数ということで挙げている。国際交流で派遣した学生が帰国後も連絡を取り合うような形を想定しているが、現在はまだ調査をしていないため、これから実数を把握していく予定。

(副会長)

光ファイバーの部分だが、あれだけお金をかけて自設したものの、その費用対効果は検証されているのか、また、今後の活用方法はどのように検討されているのか、説明をお願いしたい。

(会長)

全体的に、基本計画に掲載されるということは、予算化が認められたようなものなので、委員を納得させるだけの資料を提出していただきたい。

議題1 - 「環境と共生のまちづくり」について

事務局より、配布資料「後期基本計画・施策内容調書」および資料「施策体系図(素案)」について説明。

(委員)

景観審議会の委員にも入っていたが、総合計画との関係はどうなっているのか。また、遊休農地の解消を4haから5haにと記載されているが、これはどのような数字なのか。

(事務局《都市計画課》)

天草市全体が景観計画区域であるが、その中でよりレベルの高い景観の指定を景観形成地域として7地区指定しており、順次啓発しながら10地区まで指定数を増やす目標にしている。

(事務局《企画課》)

遊休農地については、天草市全体で2,000haの遊休農地があり、そのうちの200haを解消しようという目標である。そのうち景観的に5ha取り組みたいという目標である。

(委員)

耕作放棄地をどのように解消しようという計画は、JAなどにはないのか？地域ごとに不足している作物などの情報を集め、問題点を明らかにして、市などと連携を取りながら政策を発信していければいいと思う。

(委員)

JAの方にも、耕作放棄地解消の計画はある。市からも委員に入っていて検討しているが、地域ごとの解消プランのようなものはまだないので、今後検討していきたい。

(委員)

花いっぱい運動の参加団体数の目標値等に異存はないが、短期的な目標であって、将来に向けて島全体を美しくするという長期的な視点に立って施策を展開していくべきではないか。また、要望として、先日キリシタン館を建て替えたが、地場建材がほとんど使われていない。政策を実施する上では地元の産業にも配慮していただきたいと思う。ジオパークを推進する中でも天草産石材をうまく活かしていない。

(副会長)

キリシタン館に限った事ではなく、公共事業が減っていく中、地元業者を使うということは最優先していただきたい。

(委員)

本渡道路でも、Aルート・Bルートはほとんどが橋梁で、地元業者は入れない。Cルートならば50%くらいは入れるのではないかと思う。

(副会長)

ISOについて、経費もかかっているし、市民の認知度も低いと感じている。天草市独自の取り組みにできないか？また、新エネルギー導入施策については、他の環境施策と一体の施策として取り組むべきと考えるがどうか。

(事務局《環境課》)

ISOの取り組みについては、自己宣言に向けて取り組んでおり、監査委員を市民に願う方向で考えている。新エネルギー施策については、環境施策として一体となるものであるが、計画等個別に取り組む必要があるため、それぞれで記載させていただければと思う。

(会長)

環境施策について、具体的な成果目標がないまま書かれているものが多いため、何を、いつまでに実現しようとしているかがわかるように書いていただきたい。バイオマスセンターの建設については、多額の経費が予測されるが、効果はどれくらいあると考えているか？

(事務局《環境課》)

バイオマスセンターは、生ゴミ及びし尿・浄化槽汚泥処理施設であり、本渡・牛深の処理施設が老朽化しているため建設を予定している。建設効果は、ごみ及びCO2の削減・再資源化が考えられる。

(委員)

数値目標は必要だと思う。例えば、天草の生産高は県平均の80%程度であり、これをあと20%(450億円程度)向上させようと言えば、目標が分かりやすくなる。

(委員)

政策に対する投資の金額と、その効果を示してもらえれば、効果があるなら前倒しで実施してもよい等の判断ができる。成果目標については、ぜひ数値を出してもらいたい。

(会長)

一番わかりやすい指標は、成果を金額に換算したものである。予算をいくら付けて、会議や大会を何回開催したとかいう「インプット」「アウトプット」の指標は成果目標としてはふさわしくない。政策でどれくらいの効果が出たか、という「アウトカム」を目標に設定していただきたい。

それでは、本日の審議内容を簡単にまとめたいと思うので、事務局より説明をお願いしたい。

事務局より、審議内容の概略について説明

最後に、委員の皆様から総括的にご意見があればお願いしたい。

(委員)

本日の審議内容の中にも、輻輳(ふくそう)するものがいくつもあった。全体の調整をどのように取っていくか等、今後の検討体制や計画の推進体制をどのように考えているのか。

(事務局《企画課》)

各部等の調整課長による検討会や、部長会議を設置しており、その中で十分調整を図りながら検討し、策定後も組織の見直し等とも連携して推進していきたい。

(会長)

計画を1年ごとに進行管理していくような審査組織を検討していく必要があると思う。また、参考で良いのでそれぞれの政策ごとにどれくらいの金額が使われる予定か、資料をいただきたいと思う。

(委員)

収入と支出の観点から、4年間でいつごろの時期にどれくらい使う予定があるかという資料ならば経営的な判断ができると思う。

議題2 今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて説明。次回の審議内容を、パブリック・コメント案の審議とすること、次回審議会を10月下旬～11月上旬とすることで決定。

(会長)

今回は委員の皆様、事務局案の資料を読んでいただく時間を取ればと思う。

(委員)

事務局案を予め読んでおいて、質問等があれば事前に事務局に伝えておくようにすればどうか。

(事務局《企画課》)

スケジュールや資料配布日程などについて、文書等でお知らせするようにしたい。

(会長)

委員の皆様それぞれ、計画の内容については再検討してもらわなければならないと感じていらっしゃるようなので、企画課はじめ事務局の皆様には効果の上がる計画案を検討していただきたい。

〔4〕閉会

午後4時00分、閉会。